

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート はるかぜ		
○保護者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年4月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21世帯	(回答者数) 20世帯
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年4月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの気持ちやペースに寄り添いながら、安心して過ごせる関係づくりができています	日々の様子や小さな変化を職員間で共有しながら、子どもたちが「また来たい」と思える関わりを大切にしている	子ども本人の思いや自己選択の場面をさらに大切にしながら、安心感と成長の両立につながる支援を深めていきたい
2	保護者との日々の情報共有や相談しやすい関係づくりができています	連絡帳や送迎時のやり取りを通して、ご家庭とも丁寧に様子を共有しながら安心につながる関わりを行っている	保護者それぞれの状況や思いにも配慮しながら、より話しやすく相談しやすい関係づくりを継続していきたい
3	子どもたちが楽しみながら活動できるよう、日々の活動内容を工夫している	季節感や子どもたちの興味関心を取り入れながら、バランスを意識して活動を行っている	地域との関わりや新しい体験につながる活動についても、子どもたちの様子に合わせながら少しずつ広げていきたい

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や外部とのつながりの機会がまだ限られている	子どもたちの安心感や活動バランスを優先する中で、地域交流の機会設定まで十分に広げきれていない部分がある	無理のない範囲で地域資源や関係機関とのつながりを深めながら、交流機会についても検討していきたい
2	保護者同士が交流できる機会はまだまだ多くない	各ご家庭の生活状況や負担感も異なるため、全体で集まる機会づくりが難しい面がある	ご家庭ごとの状況も大切にしながら、無理のない形でつながりを持てる方法を考えていきたい
3	職員間の共有や振り返りについて、時間確保が難しい場面がある	送迎や日々の業務が重なる中で、十分な共有時間を確保しにくい日がある	短時間でも必要な情報が共有できるよう、共有方法や振り返りの仕組みを引き続き工夫していきたい